

園まつりを終えて ～年中編～

園まつり後の登園日、さつきの部屋で待っていると、元気いっぱいの子供たちがやってきました。着替えを済ませると、いつものように遊んでいましたが、園まつり当日のお店の写真を見せるとじーっと見たり、パンフレットの表紙にもなっている幕を見て「えんまつり」とそっとつぶやいたりする子もいて、園まつりのことが楽しい思い出として印象に残っているのが伝わってきました。

「園まつり終わったから動物さん迎えに行こうね、きっとみんなに会いたがってるよ」と話し、展示室だった部屋にみんなで動物を迎えに行きました。部屋に着くと、すぐに自分の動物を見つけ、「わんわんちゃん！！」と名前を呼びながら上に掲げたり、そっとさわったり、ぎゅっと抱きしめたりしていた子供たち。そのときのみんなの表情がとにかく嬉しそうでかわいらしくて、動物のことが大好きな気持ちが伝わってきて、私も幸せな気持ちになりました。

園まつりの間少し動物と離れていたからでしょうか、園まつりを終えてさらに動物への愛着が深まったように感じます。動物がさつきの部屋に戻ってきてから、毎日園庭に遊びに行くときに自分の動物を連れていくお友達もいました。「きりんさん♪バナナ♪」と言いながら、砂場のバナナの型抜きを食べさせてあげようとしたり、抱っこしながら砂場で料理を作ったり。まるで相棒のように、ずっとそばにいて遊んでいる姿がとてもほほえましかったです。

また、動物がいることで、前よりもお友達に関心をもったり、お友達と一緒に遊ぶことを楽しんだりしていました。ある子が「みんながお外行っている間さみしくないようにお昼寝して待っててね！」と言い、みんなの動物を寝かせようとしていました。それを見て、まだ立っていた動物を同じように寝かせてあげる子も。こんなふうに、自分だけでなく、お友達の動物やお友達のことを気にする姿も見られました。また、みんなで動物を展示したり他のクラスの作品を見たりした経験から、みんなの動物を集合させて動物園を作ったり動物のごはんを作って遊んでみたりと、園まつり後は遊びがさらに広がっていきました。一人の子が動物で遊んでいると、他のお友達も加わって・・・笑い合いながら遊ぶことも増え、お友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じているようでした。

なかよしルームを通るとき、れんげ・すずらんさんが作ったスペースシャトルやロケットを改めて見て、「年長さんってこんな作れるなんてすごいよね」とぼつりとつぶやいた子がいました。「みんなも年長さんになったらこんな大きい作るんだよ！楽しみだね！」と言いながら、「こんなふうに年長さんの作品を見たり遊んだりした経験が、憧れの気持ちや「ぼくたちは今度こんな作りたい！」という意欲につながっていくのだな」と感じ嬉しい気持ちになりました。

当日もその後も楽しいことがたくさんあった園まつり。子供たちにとって、きっと思い出に残る園まつりになったと思います。保護者の皆様、たくさんのご協力本当にありがとうございました。

さつき 担任

おかえり！！



いたー！ぎゅっ！



さみしかった？



きりんさん♪



みんなでお昼寝中



わんわんちゃんのおうち！



一緒に遊ぼう！



みてみてー！

